

科目名	創造研究	英文表記	Creative Research	2011.03.28		
科目コード	5410					
教員名：全教員 技術職員名：各教員が依頼				作成		
対象学科／専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
生物資源工学科	5年	選	履修	1単位	実験	通年
目標及び評価方法	目標項目		評価方法及びその割合			
	①学生各自の問題意識に沿った創造性あふれる課題設定を行い、その解決策を立案・計画・実行できる。		①課題設定を行い、その解決策を立案・計画・実行できたかを、レポートや関連機関への投稿、研究会での発表やコンクールへの出場等で成果を問うと同時に、創り上げられた作品を評価の対象とする。(20%)			
	②研究を通して、専門知識を学び続け、創意工夫できる。		②専門知識を学び続け、創意工夫できたかを、レポート内容や関連機関への投稿、研究会での発表内容で評価する。(30%)			
	③研究内容と結果を論理的に考察し、日本語で報告することが出来る。		研究内容と結果を論理的に考察し、日本語で報告することが出来るかを、レポート内容や関連機関への投稿、研究会での発表内容で評価する。(40%)			
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	生物資源工学
	○	◎	○	○	JABEEプログラム教育目標	B-1、B-2、C-2
授業概要、方針、履修上の注意	<p>1 学生各自が、創造性あふれる課題を持つことから、この授業ははじまる。</p> <p>2 学生は個人もしくはチームで、上記の課題を研究するためにふさわしい教員をさがし、担当を依頼する。</p> <p>3 授業時間は、教員と学生が相談の上、両者の空き時間（具体的には放課後等が予想される）に設定される。教員が直接指導・助言にあたるのは、原則として授業1単位（年間30時間）に相当する時間とするが、授業の性格上、学生が図書館等で調査研究したり、グループもしくは個人で、レポートや作品を仕上げている時間も授業時間に換算できるものとする。</p> <p>4 依頼を受諾してもらえた場合には、学生は、所定の用紙で、「課題名」・「担当教員」・「授業時間」等を教務係に届け出る。</p> <p>5 授業はゼミ形式となる。担当を承諾した教員は、調査・実験・討議・発表等に関して、適宜、指導・助言を行う。</p> <p>6 テーマによっては、5年次の自己提案型卒業研究として継続可能とする。授業は研究テーマ詳細については、各教員の担当可能テーマ内容を参照すること。</p>					
教科書・教材	指導教員が提示する図書、および自ら検索した研究に関連する図書など					
授 業 計 画						
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容		予 習 項 目	
1	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
2	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
3	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
4	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
5	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
6	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
7	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
8	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
9	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
10	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
11	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
12	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
13	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
14	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
15	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
16	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
17	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
18	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
19	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
20	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
21	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
22	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
23	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
24	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
25	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
26	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
27	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
28	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
29	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
30	創造研究	1	各創造研究テーマ参照			
学習時間合計		30	実時間		25	
学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など） 記入不要→この科目は履修形態のため、この欄の記入は不要						

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)